

南部圏域課題解決プラン(変更案)

～世界へ躍進！「四国の右下」の新たな挑戦～

徳島県南部総合県民局
令和3年3月

目 次

1	強靱・安心を実現する地域づくり	
	(1) 強くしなやかな地域社会の構築	
	【プラン1】すべての命を守り・つなぐソフト対策の推進	1
	【プラン2】あらゆる自然災害を迎え撃つハード対策の推進	4
	(2) 生涯健康で安全・安心できる暮らしの確保	
	【プラン3】「人生100年時代」を見据えた質の高い生活の確保	6
	【プラン4】地域との協働による安全・安心な暮らしの確保	7
2	世界を魅了する観光地域づくり	
	(1) 地域の強みを生かした観光インバウンド戦略の展開	
	【プラン5】自然・文化・スポーツ等による新たな魅力の創造と レガシーの創出	8
	【プラン6】国内外世界に向けた魅力発信の強化	11
	【プラン7】ストレスフリーな旅行環境の整備	13
	(2) 交流が広がる交通体系の構築	
	【プラン8】道路ネットワークの整備促進	14
	【プラン9】次世代に向けた新たな地域公共交通ネットワークの構築	15
3	成長産業化による豊かな地域づくり	
	(1) 地域産業の担い手の育成と確保	
	【プラン10】次代を担う人材の確保	16
	【プラン11】担い手を育む地域の育成	18
	(2) 生産を増やし需要を拡大する「もうかる農林水産業」の推進	
	【プラン12】世界に羽ばたく農畜産物のブランド化・ 6次産業化等の推進	19
	【プラン13】県南ならではの水産物のブランド化等の推進	20
	【プラン14】県南林業の成長産業化の推進	21
	(3) 「超スマート社会」の実現	
	【プラン15】「スマート農林水産業」の推進	22
	【プラン16】革新技術を活用した地域課題の解決	23
4	豊かな自然と調和した地域づくり	
	(1) 美しく豊かな自然環境の保全と継承	
	【プラン17】多様な自然環境の保全	24
	【プラン18】総合的な環境教育・環境学習の推進	25
	(2) 豊富な自然資源等の利活用	
	【プラン19】自然と調和したまちづくりの推進	26
	【プラン20】自然エネルギー・水素エネルギー活用の推進	27

5 にぎわいと笑顔あふれる地域づくり

(1) 訪れたい、住み続けたい魅力的な地域の創造

【プラン21】「四国の右下ファン」の創出・拡大 28

【プラン22】「地域の宝」を育む結婚・妊娠・出産・子育て支援 30

(2) だれもがいきいきと暮らし、かがやく地域の創造

【プラン23】「地域の絆」によるまちづくりの推進 32

【プラン24】だれもがかがやく未来に向けた学びの場の確保 34

1 強靱・安心を実現する地域づくり

(1) 強くしなやかな地域社会の構築

【プラン1】すべての命を守り・つなぐソフト対策の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	小・中・高校生を対象にした防災講座等実施回数 (’17) 34回 → (’22) 40回以上	40回以上	40回以上	40回以上	40回以上
2	医療救護活動訓練の実施市町数 (’17) - → (’22) 2市町	2市町	2市町	2市町	2市町
3	災害の危険性が高い山地災害危険地区の調査・点検パトロールの実施箇所数 (’17) 61箇所 → (’22) 60箇所	60箇所	60箇所	60箇所	60箇所
4	山地防災ヘルパーの認定者数(累計) (’17) 36人 → (’22) 45人	41人	43人	45人	45人
5	全ての水位周知河川における「洪水浸水想定区域図」の策定(累計) (’17) - → (’19) 6河川	6河川	-	-	-
6	全ての水位周知河川における「洪水タイムライン」の策定(累計) (’17) 1河川 → (’19) 6河川	6河川	-	-	-
7	ファミリータイムラインの作成(累計) (’17) - → (’21) 49地区 → (’22) 53地区	1地区	3地区	5地区	-
8	危機管理型水位計の整備(累計) (’17) - → (’20) 18箇所	9箇所	18箇所	-	-
9	土砂災害警戒区域の指定率(累計) (’17) 53.3% → (’19) 100%	100%	-	-	-
10 追加	河川監視カメラの整備(累計) (’17) - → (’22) 9箇所	-	-	6箇所	9箇所
11 10	マイナンバーカード利用によるPHR(Personal Health Record)の活用推進 (’17) - → (’22) 推進	推進			

	主要施策・主要事業	※() 書きは、南部圏域振興計画(第4章)の「今後の取組み」を示す	担 当
1	切迫する南海トラフ巨大地震や頻発・激甚化する風水害に備えるため、これまでの教訓を踏まえながら、避難力の向上や女性・要配慮者への配慮を含む避難生活におけるQOLの向上、防災教育・啓発、各種防災訓練など、「迎え撃つ!防災減災県南プログラム」を着実に推進し、防災減災対策の強化を図る。	(ア、イ、ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
2	災害時の「防災拠点」として、また平時は防災啓発を行うなど、地域住民の防災意識の高揚や防災知識の普及活動の場として、南部防災館の利活用を図る。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
3	巨大地震による津波被害を軽減する海岸防災林について、県南地域の住民との協働による保護・管理活動を実施する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
4	専門知識を有する人材や県職員が講師となり、次世代の防災を担う人材の育成や自主防災組織活動の活性化のため、学校や地域と連携し、防災講座等を開催するとともに自主防災組織を対象とした、「家庭で学べる防災」の展開、防災関係動画の発信などにより、新たな防災教育・防災啓発を実施する。(ア)	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
5	南部圏域内で開催される各種イベントにおいて、防災減災の要素を加えるなど、様々な場を活用し、広く防災教育・防災啓発を行う。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
6	防災関係機関と連携した実践的な防災訓練の展開や、市町・地域、事業所等が実施する各種防災訓練への参加・支援を通じ、南部地域の防災力向上を図る。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部

7	多くの地域住民にとって防災減災を考える機会となるよう、様々な展示・体験を用意した防災イベントを防災関係機関と連携し実施する。 (ア、イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
8	休日等勤務時間外における緊急事態や災害発生時の応急対応のため、配備編成計画の作成、初動要員及び市町派遣職員の指定を行うとともに、研修の実施等、職員の災害対応力向上に努める。 (ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
9	非常時における防災関係機関等との円滑な情報共有のため、衛星携帯電話など通信端末の整備による、通信手段の複数化や、災害時情報共有システムの有効活用など、情報連絡体制を充実させる。 (ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
10	出前講座や市町等との実践訓練を通じて、平時からの健康づくりや快適なトイレ環境とエコノミックラズ症候群予防、 新型コロナウイルス等感染症対策など を併せた「健康避難生活」の普及啓発を図る。 (エ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
11	災害発生時の避難の際に配慮を要する避難行動要支援者の個別の避難を支援する「個別計画」の策定を推進するため、管内5市町と連携し、要配慮者対策会議等を開催し、市町の個別計画策定を支援する。 また、市町等との実践訓練を通じて、災害時における高齢者や母子、障がい者などの要配慮者にやさしい避難所の設置・運営を推進する。 (オ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
12	災害時要配慮者を地域ぐるみで支えるため、在宅等で避難生活を送る要配慮者に対し、発災初期から支援者同士の連携が円滑に進むよう、平時から保健・医療・福祉分野のネットワークを構築するとともに、若年層を中心として広く要配慮者の支援方法等の普及啓発を行うことにより、地域の支援力の向上を図る。 (オ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
13	災害発生時に被災者に適切な治療や医薬品の提供を行うため、マイナンバーカード利用による個人の医療・健康等データ（PHR：Personal Health Record）を活用できる仕組みの構築を推進する。 (オ)	Social5.0推進課
14	災害時コーディネーターを中心に、災害拠点病院などの医療機関と連携した訓練を実施するとともに、市町に設置される医療救護所と関係機関との医療救護活動における連携体制の強化を図る。 (カ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
15	台風豪雨やゲリラ豪雨による土砂災害から生命・財産を守るため、治山施設や地すべり防止施設等を整備するとともに、山地災害の危険性が高い地域の調査やパトロールを実施し、人的災害ゼロを目指す。 (キ)	南部総合県民局 農林水産部
16	山地災害に関する情報収集の迅速化や地域住民に対する防災啓発を推進するため、地域に密着した山地防災ヘルパーの認定を推進する。 (キ)	南部総合県民局 農林水産部
17	水位周知河川で策定した「洪水浸水想定区域図」の周知や活用により、住民の避難意識の醸成を図るとともに、適切な避難場所の設定や円滑かつ迅速な避難のための措置を講じ、一層効果的な住民避難に努める。 (ク)	南部総合県民局 県土整備部
18	策定した「洪水タイムライン」を流域住民に周知を図り、安全かつ確実な避難行動へ繋げるとともに、防災機関が活用し、地域における防災活動の迅速化など、災害対応能力の向上を図る。 (ケ)	南部総合県民局 県土整備部
19 20	「平成30年7月豪雨」や「令和元年台風第19号」による未曾有の大水害を受け、洪水からの「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた避難意識の醸成を図るため、「ファミリータイムライン作成」の支援を推進する。 (コ)	南部総合県民局 県土整備部
20 19	IoTを活用した危機管理型水位計の整備により、河川の水位監視体制を強化するとともに、人的被害の軽減を図る水位情報を発信し、住民の早期避難につなげるよう努める。 住民の避難行動を促し、人的被害の軽減を図る水位情報を発信するため、最新のIoTを活用した危機管理型水位計を設置し、河川の水位監視体制の強化を推進する。 (サ)	南部総合県民局 県土整備部
21 追加	洪水からの「逃げ遅れゼロ」社会の実現に向けた住民の避難行動を促すため、洪水時に「切迫感」のある河川状況をリアルタイムで確認できる「河川監視カメラ」の設置を推進する。 (サ)	南部総合県民局 県土整備部
22 24	土砂災害による被害から生命・財産を守るため、IoTを活用した雨量計の整備により、主砂災害警戒区域に関する情報を広く地域住民等に対して周知するとともに、きめ細やかな雨量情報を提供し、住民の適切な避難を支援する。IoT雨量計の設置を推進する。 (シ、ス)	南部総合県民局 県土整備部

23 22	南海トラフ巨大地震による津波災害から農業の早期復興を図るため、管内土地改良区やJAによる「農業版BCP」の実践力向上の取組みを支援する。 (七)	南部総合県民局 農林水産部 農林水産総合技術支援センター 農山漁村振興課
24 23	大規模災害時における橋港の機能継続計画（港湾BCP）（H27策定）、大規模災害時における浅川港の機能継続計画（港湾BCP）（H30策定）に基づき、平素から関係者相互の連絡系統の確立や継続的な活動を行う。 (七)	南部総合県民局 県土整備部
25 24	県内企業における災害時のBCP（事業継続計画）について、大学や商工団体等と連携した研修・指導や認証制度の運用等により、策定を促進する。 (七)	商工政策課

市・町関連施策		市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●防災に対する共通理解を深め、有事の際の避難行動などに生かすため、「広報あなん」を活用し、様々な情報を提供する。また、地元自主防災会での防災訓練、防災講座等に参加し、防災意識の高揚を支援するとともに、訓練・講座等の実施に際し、補助金を交付する。 ●自主防災組織の組織率100%を目指す。また、公民館を単位とした市内14地区に自主防災会連合会を結成し、各地域の自主防災組織間の連携を図り、地域の防災力の向上を図る。 ●地域防災計画やハザードマップ等に基づき、多種多様な災害に対応した総合的かつより有効な防災体制の確立を図る。また、社会・経済の変化に即し、消防体制、救急・救助体制の充実強化や、住民一人ひとりの防火・防災意識の高揚による予防対策の充実に努め、安全・安心で災害に強いまちづくりを目指す。 	阿南市	
<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の結成率を上げるとともに、防災活動として避難訓練をそれぞれの各組織で実施することで、地域全体の防災力強化を図る。 	那賀町	
<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織や各種団体の防災活動のリーダー、担い手を育成し、自主防災組織をはじめ各種団体との連携による防災体制の強化組織ごとの防災力向上を図る。 	牟岐町	
<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災会の充実、活性化の取組みに対して支援するため、徳島大学地域づくりセンターと連携し、地域に応じた防災活動の普及啓発を図る。 ●徳島県が発表した想定最大規模の洪水浸水想定による日和佐川ハザードマップの作成、町業務継続計画（BCP）、受援計画の策定等の推進を図る。 	美波町	
<ul style="list-style-type: none"> ●住民・自主防災組織等を対象にした防災講座や防災訓練の実施、小中学校での防災教育等防災意識の高揚及び防災知識の普及活動を行う。 ●被災後早期に的確なまちづくりに着手するために、事前復興計画の策定、地域防災計画・町業務継続計画（BCP）・津波避難計画を必要に応じ改訂し運用する。 ●徳島県津波浸水想定を受けたハザードマップの作成、地域防災計画、町業務継続計画（BCP）の策定・運用を図る。 	海陽町	

【プラン2】あらゆる自然災害を迎え撃つハード対策の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	那賀川加茂地区、和食・土佐地区の築堤整備の促進 〈'17〉 工事施工中 → 〈'20〉 完成	促進	→		
2	長安ロダムの本体改造の促進 〈'17〉 工事施工中 → 〈'19〉 完成	完成			
3	長安ロダムの長期的堆砂対策の促進 〈'17〉 事業着手 → 〈'22〉 工事促進中	促進			→

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	津波避難困難地域解消のため、津波浸水被害の想定される沿岸部での「かけ崩れ対策」と併せ、避難場所・避難路の整備や砂防施設（管理道や作業ヤード等）を活用した避難場所等の創出を推進する。また、地震や台風による災害からの避難場所を確保する。	(ア)	南部総合県民局 県土整備部
2	那賀川や海部川など上流域における森林の公益的機能の維持増進を目的とした治山事業を推進する。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
3	孤立集落の発生を防ぐため、倒木対策協議会（平成26年度設置）を通じ、生命線道路や緊急輸送道路において、台風や大雪等による倒木を防ぐ事前伐採を実施する。 また、発災時に緊急輸送路等の補完道となり得る農林道の整備を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部
4	津波迂回ルート設計等を進め、用地取得等が完了したところから工事を実施する。	(ウ)	南部総合県民局 県土整備部
5	救命救急や防災活動を支援する緊急輸送道路などのインフラ整備を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 県土整備部
6	河川・海岸堤防等の地震・津波対策を推進する。	(エ)	南部総合県民局 県土整備部
7	河川・海岸における、陸閘・水門・樋門の自動化や統合による閉鎖を推進する。	(エ)	南部総合県民局 県土整備部
8	気候変動により頻発化・激甚化する水災害による被害を軽減するため、堤防強化、樹木伐採及び河道掘削等の安全に洪水を流下させる浸水対策を推進する。	(オ)	南部総合県民局 県土整備部
9	平成26年8月、平成27年7月豪雨をはじめとする洪水被害から県民を守る予防的な治水事業として、那賀川加茂地区、和食・土佐地区等の県管理河川（重点対策河川）の整備を推進する。	(オ)	南部総合県民局 県土整備部
10	県民の生命や財産を守るため、河川の堆積土砂を撤去から活用まで支援・管理する「海部川モデル」により、堆積土砂の総合対策を推進する。	(カ)	南部総合県民局 県土整備部
11	直轄管理の長安ロダムにおいて、洪水調節能力の増強に向け、放流設備の増設を促進するとともに、長期的堆砂対策を促進する。	(キ)	南部総合県民局 県土整備部
12	阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園へのアクセス道路の整備を推進する。	(ク)	南部総合県民局 県土整備部
13	IoT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。	(ケ)	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●住宅の耐震化の必要性及び支援制度を詳しく広報するとともに、耐震診断と耐震化を支援する。また、老朽化して危険な空き家・空き建築物の除却を推進する。 	各市町
<ul style="list-style-type: none"> ●民間ビル所有者等との協定締結をはじめ避難場所の確保や整備を推進する。 ●民間ホテル等との協定締結により避難所の拡充や環境整備を図る。 	阿南市
<ul style="list-style-type: none"> ●指定避難所の耐震改修を順次促進していく。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●津波避難ビルの追加指定、避難施設場所・避難経路の整備充実（誘導表示等）（防犯灯など）を図るとともに、地域防災計画の見直しを進める。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●見直した避難場所、避難路の整備の充実（看板・防犯灯）を図るとともに、二次避難場所の整備を進める。 ●避難困難地域の津波避難タワーの整備を進める。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●緊急避難場所、避難路等の整備、備蓄倉庫の充実等計画的に実施する。 ●河川氾濫の原因となる河川に堆積した土砂を取り除き、増水時における安全性を確保できるよう県と連携して取組む。 ●消防団の車両・設備等を計画的に整備・充実し、地域防災力の強化を図る。 ●住宅の耐震診断・耐震改修や老朽危険空き家の取り壊しの支援を行う。 ●津波による分断・孤立が懸念される海陽町穴喰地区において、阿南安芸自動車道（海部道路）の整備に合わせて、防災拠点施設となる地域防災公園を整備する。 	海陽町

(2) 生涯健康で安全・安心できる暮らしの確保

【プラン3】「人生100年時代」を見据えた質の高い生活の確保

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	認知症サポーター数（累計） 〈'17〉 10,256人 → 〈'22〉 16,800人	13,500人	14,600人	15,700人	16,800人
2	栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等（健康づくり推奨店）の登録数（累計） 〈'17〉 20店舗 → 〈'22〉 30店舗	24店舗	26店舗	28店舗	30店舗
3	自殺予防サポーター数（累計） 〈'17〉 5,541人 → 〈'22〉 7,500人	6,300人	6,700人	7,100人	7,500人

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	南部圏域の公的医療機関が一体となった医療提供体制（海部・那賀モデル）において、医療従事者の相互交流及び協力、ICT活用によるネットワーク構築、治療材料・医療機器の共同調達等を推進する。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課
2	救急医療電話相談（#7119）や小児医療電話相談（#8000）の利用促進のための周知を図り、活用していただき、急な病気やケガにより不安が生じる県民への安全・安心の確保とともに、保護者が安心して子育てができる環境整備を図る。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課
3	県民のさらなる健康向上や医療費の抑制を図るため、患者の診療情報を各医療機関、介護事業所及び薬局で共有化する「阿波あいネット」の機能拡充全県展開を図る。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課
4	県内3大学等から実習生を受け入れ、多職種連携による災害医療や地域包括ケアシステムの推進に重点をおいた臨地実習を行うことにより、将来の保健医療の中核を担う人材育成を図るとともに地域医療の充実を目指す。	(イ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
5	人生の最期まで本人の生き方が尊重される医療・ケアに携わる医療・保健・介護分野の人材育成と、多職種連携を強化することにより、地域包括ケアシステムの推進を図る。	(イ)	南部総合県民局 保健福祉環境部 医療政策課 長寿いきがい課
6	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーターを養成するとともに見守りや支援を推進する。	(イ)	南部総合県民局 保健福祉環境部 長寿いきがい課 各市町
7	長期の喫煙習慣が主な原因であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について情報提供を行い、受動喫煙防止や喫煙習慣の改善など健康づくり対策を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
8	栄養表示やヘルシーメニューの提供等に取り組む飲食店等（健康づくり推奨店）を拡大し、「食えること」から元気で活力ある地域づくりを推進する。	(ウ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
9	「自殺予防サポーター」の養成に努めるとともに、関係機関と連携した自殺予防のための生き心地の良いまちづくりを推進する。	(エ)	南部総合県民局 保健福祉環境部

	市・町関連施策	市町名
●	阿南医療センターの医師確保を図ることにより、救急医療体制を確立するとともに、災害拠点病院及び地域医療支援病院としての機能維持及び安定した経営基盤の確保に向け、必要な支援を行う。	阿南市
●	すべての住民が住み慣れた家庭や地域社会で共に助け合い、しあわせに暮らすことができるよう、住民との協働のもとに地域福祉の体制の整備を図るとともに、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けた取組を推進する。	阿南市
●	県立海部病院等と連携し、地域医療の充実を図るためには医師の人材確保が不可欠である。地域医療を守る会を支援しながら牟岐市内医師流出を抑える施策を継続し、ながら連携強化を推進する。	牟岐町
●	町全体での見守り支援として、認知症サポーターの増加、生活支援体制を整備するとともに、医療と介護の連携を推進し地域包括ケアシステムの構築に向け内容の充実を引き続き図る。	牟岐町
●	高台に移転した美波病院又津波への対策がされた医療保健センターを活用し、美波町における総合的、継続的な保健医療福祉サービスの提供を継続していく。	美波町
●	住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう医療・介護の連携を強化し、町全体での見守り支援として、見守り事業者の増加、認知症サポーターの養成、生活支援体制の整備や充実に向けた取組を推進する。	海陽町
●	医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を図るとともに、中山間地域における「小さな拠点（集落活動センター）」の整備を検討する。	海陽町

【プラン4】 地域との協働による安全・安心な暮らしの確保

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	学校安全ボランティアの登録数 〈'17〉 2,686人 → 〈'22〉 2,000人以上	2,000人以上	2,000人以上	2,000人以上	2,000人以上

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	監視指導体制の強化による食品表示の適正化、徳島県HACCP認証の普及、HACCPアドバイザー育成による事業者の自主衛生管理の推進に努めるとともに、リスクコミュニケーション機会の提供による消費者と事業者間の相互理解の促進により、県民の食に対する安全安心の確保に努めます。 (ア)		南部総合県民局 地域創生防災部 保健福祉環境部 安全衛生課
2	地域の課題解決につながる政策提言を行う「とくしま政策研究センター」（県立総合大学校）において、「消費者行政・消費者教育」をテーマとした調査研究を実施する。 (イ)		南部総合県民局 地域創生防災部 県立総合大学校 本部
3	圏域内で市町に設置された見守りネットワークが実効性のある活動を継続するための情報提供や研修、事業者の消費者志向経営を推進するとともに、若年者の消費者教育の充実に努めます。また、消費生活相談員の育成及び市の消費生活センター相談員の資質向上への支援による相談体制の強化に努めます。 (イ)		消費者政策課
4	妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行うために、要保護児童対策地域協議会を中心とした関係機関との連携を密にし、子どもの安全を最優先にした対応を図る。 (ウ)		南部総合県民局 保健福祉環境部
5	地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児、児童、生徒の安全確保を図る。 (ウ)		教育委員会
6	DVの早期発見や発生防止を図るため、講座やパネル展など啓発活動を実施するとともに、阿南市配偶者暴力相談支援センターやDV被害者等支援ネットワーク等関係機関との一層の連携を図る。また、DV被害者の視点に立った相談・保護を実施し、自立支援を促進するとともに、児童相談と連携し、DVのある家庭で育つ子どもへの支援を図る。 (エ)		南部総合県民局 保健福祉環境部
7	性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま（南部）」の定着を図るため、相談窓口の周知に努めるとともに、支援を担う関係機関と連携してスタッフのスキル向上に取り組み、被害者支援機能の強化を図る。 (エ)		南部総合県民局 保健福祉環境部
8	配偶者等からの暴力の防止の視点に立って、若年層を対象に、「デートDV防止セミナー」などの啓発を推進する。 (エ)		男女参画・人権課
市・町関連施策			市町名
●老人クラブ会員、保護者組織（CST）等による、小学生の登下校時の通学路の不審者対策及び交通安全のための、見守り活動とあいさつ運動を実施する。			牟岐町

2 世界を魅了する観光地域づくり

(1) 地域の強みを活かした観光インバウンド戦略の展開

【プラン5】自然・文化・スポーツ等による新たな魅力の創造とレガシーの創出

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	一般社団法人四国の右下観光局の日本版DMO法人への登録 <'17> - → <'19> 登録	登録	-	-	-
2	南部圏域内における外国人の延べ宿泊者数（暦年） <'17> 2,386人 → <'20> 6,000人<'22> 11,000人	4,000人	6,000人	9,000人 -	11,000人 -
3	ワールドマスターズゲームズ2021関西の競技開催に向けた体制整備 <'17> 推進 → <'22+> 開催	推進	推進	開催 推進	開催
4	国際スポーツ大会開催への地元機運醸成に向けた「スポーツ教室」等の実施（累計） <'17> 1回 → <'22> 11回	5回	7回	9回	11回
5	来訪者の満足度（7段階評価中最高評価の割合） <'17> - → <'22> 25%以上	25%以上	25%以上	25%以上	25%以上
6 追加	川口ダム湖畔におけるカヌー・SUPの拠点整備 <'17> - → <'22> 開設	-	-	推進	開設
7 6	南部健康運動公園陸上競技場の整備 <'17> 工事施工中 → <'20> 完成	推進	完成	-	-
8 7	橘港小勝・後戸地区の緑地整備 <'17> ソフトボール場2面供用 → <'20> レクリエーション施設の概成	推進	概成	-	-

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	「一般社団法人四国の右下観光局」と連携し、地域の合意形成を図ることで、広域連携による旅行商品の造成や国内外に向けたプロモーションに取り組む。 観光地域づくりの舵取り役を担うDMO「一般社団法人四国の右下観光局」を中心に、サステナブルツーリズムの視点に立ち、豊かな自然や伝統文化、郷土料理など様々な地域資源の「そのままの形」を守り、地域の魅力△と昇華させることで、継続的な観光客の呼び込みを実現し「儲かる観光」による持続可能な観光地域づくりを推進する。	(ア、イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
2 削除	これまで取り組んできたアウトドアスポーツや農林漁家体験を題材にしたプログラムに加え、地域色豊かな「祭り」や「伝統食」に触れるプログラムの開発や、「へんろ道」の保全活動ボランティアツアーなど、地域課題を題材にした体験プログラムの開発に取り組む。	(イ、ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
2 3	「四国八十八箇所霊場と遍路道」「四国遍路」を将来の世代へ保存・継承していくため、四国他県や関係団体と連携して、世界遺産登録を目指した取組みを加速する。	(イ)	文化資源活用課
3 4	旅先の文化や歴史体験への参加ニーズの高まりを受け、「地域のお祭り」や「伝統食」、「へんろ道」等の文化資産を題材にした体験プログラムなど、ここでしか体験できない付加価値の高い体験プログラムを整備し、文化資産を観光資源として活用する。	(イ)(ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
4 追加	ポストコロナ時代における県南への誘客を促進するため、旅行者のニーズの変化に合わせた新たな観光コンテンツの開発や、ワーケーションの誘致等に取り組む。	(ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部
5	県南の恵まれたアウトドアフィールドを活かし、スポーツツーリズムによる消費拡大を図るため、スポーツイベントの経済効果の拡大とスポーツ環境の魅力発信に取り組む。 県南の特色あるアウトドアイベントについて、英語版のホームページなど、海外への情報発信を強化するとともに、民間主催のイベント誘致に取り組む。	(エ)	南部総合県民局 地域創生防災部
6	南部健康運動公園等を活用し、社会人や学生の団体が行うスポーツ合宿を誘致する。	(エ)	にぎわいづくり課 国際スポーツ大会課

7	<p>東京2020オリンピック正式種目である「野球」におけるキャンプ地誘致に向けた活動を促進するとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西の実施競技となった「トライアスロン」、「アクアスロン」、「カヌー（スラローム）」、「サーフィン」、「軟式野球」において、市町及び関係機関と連携し、大会の開催に向け情報発信や機運の醸成、大会運営に携わる人材育成・組織づくりなどの受入態勢整備を進める。</p> <p>(オ)</p>	南部総合県民局 地域創生防災部 国際スポーツ大会課
8	<p>トップアスリート等を講師とした実技講習会によるワールドマスターズゲームズ2021関西の出場機会の創出や、小学生を対象としたサーフィンスクールの開催により、地域を巻き込んだ「四国の右下」ならではのスポーツレガシーの創出を行う。</p> <p>(オ)</p>	南部総合県民局 地域創生防災部
9 移動	<p>ワールドマスターズゲームズ2021関西の効果最大化と大会レガシーを創出するため、一般社団法人四国の右下観光局と連携し、大会の参加実績の高い市場（国）を対象としたプロモーションを強化する。</p> <p>※プラン6から移動</p> <p>(オ)</p>	南部総合県民局 地域創生防災部
10 追加	<p>川口ダム湖畔を中心とした「スマート回廊」のにぎわい創出のため、カヌー・SUP等の湖面スポーツに親しめる環境整備を進める。</p> <p>(オ)</p>	企業局
9 削除	<p>圏域における生涯スポーツの拠点づくりのため、南部健康運動公園や橋港小勝・後戸地区において、スポーツ・レクリエーション振興を目的とした陸上競技場や緑地等の整備を進める。</p> <p>(カ)</p>	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	市町名
<p>●7月1日から8月下旬まで、海水浴場（北の脇海水浴場、淡島海水浴場）の開設を行い、集客に努めるとともに観光地引き網事業やあななんマリノフェスティバル事業への支援など、海自然の魅力の情報発信に努める。また、若者同士の情報交換の場として、市のイメージアップや若者層の定住人口増加をめざし、羽ノ浦健康スポーツランド内のスケートボード場、阿南市屋内多目的施設（あななんアリーナ）をPRし、多くの若者の交流を図る。</p> <p>●西日本生涯還暦野球大会、西日本あかつき野球大会、野球のまち阿南少年野球全国大会、西日本500歳野球大会等の開催充実、阿南市屋内多目的施設（あななんアリーナ）を利用しての社会人野球や大学野球部の合宿、県外高校野球合宿の誘致受入を行う。また、野球と観光をセットにした「野球観光ツアー」の実施、大会や情報発信などにより、周辺を含めた地域の活性化を図る。</p>	阿南市
<p>●林業者の伝統を活かした「木頭杉一本乗り大会」を7月に開催する。川口ダム湖でのカヌー、木製サップを活用した地域振興。南つるぎ登山道の魅力情報発信に努める。</p>	那賀町
<p>●宿泊商品（民宿・旅館・民泊）・体験観光（サーフィン・SUP・シャワーライミング・山登り・クルージング・あんどん体験・かずら工芸・草木染他）・一次産業（農業体験：農業手伝い・漁業体験：釣り、はえ縄、天草・林業体験：炭焼き体験、樵木体験、狩猟体験）を自由に組み合わせることで牟岐町を満喫していただく仕組みづくりを進める。</p> <p>●南阿波よくばり体験推進協議会が実施する教育旅行の取り組み拡充に努める。</p> <p>●観光協会や観光ガイドの会と連携して出羽島（重要伝統的建造物群保存地区）や遍路道などを活用した着地型観光プランメニューを企画し、歴史的文化的価値の継承や保存と経済循環を図る。</p> <p>●牟岐町の産物を他町の宿泊施設を備えた食事提供施設で、料理提供と産品生産者の紹介を行い産品の販売拡大と牟岐町の認知拡大を目指す。</p>	牟岐町

<ul style="list-style-type: none"> ●漁業協同組合、JAかいふ、道の駅、商工会や観光協会等と連携し、既存商品のブラッシュアップに努めると共に、美波ブランド産品認証規定を検討し、その基準に沿った新たな産品の創出や「美波の詰め合わせ」として推奨できる組み合わせ商品等の形成に取り組む。 ●商工会や観光協会が核となって取り組む物産のPR活動や、県内外の地域産品フェアへの参加、百貨店、商店街等での催事・見本市等における販売促進事業の支援を行う。 ●地域資源と既存の移住交流支援施設や体験施設を生かした着地型観光（体験ツアー）を進めるとともに空き家、空き店舗等の利活用を模索し、よくばり体験拠点等を拡充する。 ●道の駅日和佐のチャレンジショップ、イベント支援用付帯設備、自転車ラック等を活用し誘客促進を図る。 また、地元食材を用いた新商品の開発に取り組み、道の駅日和佐や由岐ふれあいホール「ぼっほマリン」などでの販売を行う。 ●南阿波よくばり体験推進協議会の取り組み拡充に努力するとともに、町内農林漁家民泊の受入態勢、体験メニューや組織の充実等に取り組む。 ●人と自然のふれあいを大切に、桜街道・夢マラソンやひわさうみがめトライアスロンの多くのアスリート在美波町に迎えて開催し、美波町や南部圏域のアウトドアフィールドを知り、体感する契機としてもらう。 ●薬王寺門前の再生に当たっては、増加する外国人お遍路の滞在時間、消費額の増加を目指して案内板の整備や話題性のある取り組み、魅力ある店舗の誘致や開業支援等に取り組む。 ●うみがめ博物館の機能強化を図り、うみがめ保護活動等学び、エコツーリズムの拠点施設とすることで美波町来訪者の増加と回帰率の向上を目指す。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●「海部川風流マラソン」の開催、「まぜのおかオートキャンプ場」・「海陽町海洋自然博物館」での各種イベント・行事を拡充・充実し、交流人口の拡大を図る。 ●「蛇王運動公園（野球場）」における四国アイランドリーグ等の大会開催を誘致する。 	海陽町

【プラン6】 国内外世界に向けた魅力発信の強化

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
4 削除	観光情報サイト「四国の右下観光局」の外国人ユーザー数 (17) → (22) 1,600ユーザー	1,000 ユーザー	1,200 ユーザー	1,400 ユーザー	1,600 ユーザー
1 追加	YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」への動画投稿本数(年間) (19) → (22) 40本	—	30本	40本	40本
2 追加	YouTubeチャンネル「みぎアゲTV」の年間総再生回数 (19) → (22) 300,000回	—	70,000回	150,000 回	300,000 回
3 追加	英語版SNSによる投稿回数 (19) → (22) 100回	—	30回	100回	100回
4 追加	「川口エネ・ミュー」におけるバーチャルコンテンツ体験者数 (19) → (22) 9,000人	—	—	8,000人	9,000人

	主要施策・主要事業	※()書きは、南部圏域振興計画(第4章)の「今後の取組み」を示す	担 当
4 削除	「四国の右下」の魅力の効果的な情報発信を行い、ファンづくりを推進するため、一般社団法人四国の右下観光局において、情報の一元化や地域の魅力を体感することができる商品企画、プロモーションを行う。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
1 追加	四国の右下の「観光情報」や「人の魅力」を効果的に発信するため、地域の事業者等を巻き込み「YouTube」等を活用した動画での情報発信に取り組む。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
2 移動	ワールドマスターズゲームズ2021関西の効果最大化と大会レガシーを創出するため、開催に向け、「四国の右下」で開催されるトライアスロン、カヌー、サーフィン、軟式野球の参加者や家族等の誘客を促進するため、一般社団法人四国の右下観光局と連携し、大会の参加実績の高い市場(国)を対象とした商談会に参加するなど海外でのプロモーションを強化する。	※プラン5へ移動 (ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
2 3	FIT(海外への個人旅行)誘客を促進するため、「四国の右下」の自然・伝統文化・体験や食など、FIT層に訴求力の高いコンテンツを体感するモデルコースや観光スポットを動画を積極的に活用しSNS等で発信する。	(アイ)	南部総合県民局 地域創生防災部
3 追加	効果的なインターネット広告の配信やSEO対策等、デジタルマーケティングによる広報戦略の効果拡大に取り組む。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
4 追加	「スマート回廊」の魅力発信のため、「川口エネ・ミュー」とその周辺施設が連携し、ニューノーマルに対応したオンラインによるICT授業や、VRによるダム・発電所の施設見学、YouTube「川口エネ・ミューチャンネル」による動画配信等に取り組む。	(イ)	企業局

市・町関連施策	市町名
<p>●AMA(A阿南市, M室戸市, A安芸市)を広くアピールするために、関西地区でのメディアキャラバンを実施する他、「新しい生活様式」を取り入れた広域観光ルートの開発や旅行会社、雑誌社に対して観光及び特産品等の情報発信を行う。また、定住自立圏観光圏を形成して、圏域の魅力等を紹介する。</p> <p>●道の駅公方の郷なかがわ、光のまちステーションプラザでの観光パンフレットの配布及び映像施設を利用した観光情報の発信、YouTubeによる動画配信サイトの利用、AMA(あま)ナビ等による動画情報の発信を行うとともに、AMA観光PRイベントの実施により、四国東南部への集客を図る。</p>	阿南市
<p>●那賀町「徳島ドローン特区」として、那賀町の山、谷、川、ダム、豊かな自然を活用した空撮アテンドのワンストップサービスの実施やドローンマップを活用したコンテストを開催し、集客を図る。</p>	那賀町
<p>●牟岐町の自然や産業など、魅力を町外へ発信することにより、交流関係人口の増加を目指すとともに、教育や文化、産業の新たな発見と充実をめざし地域の活性化を図る。</p> <p>●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム(牟岐町アプリ)により、ユーザー登録すると自動的に牟岐第二町民になれ、ふるさと会員になり、牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築した。ゆで、関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方の加入を進め、牟岐町に興味を持っていただいた方等にも魅力情報発信を行う。</p>	牟岐町

<ul style="list-style-type: none"> ●地域に埋もれている歴史文化資源を観光プロダクトとして掘り起こし，地域の魅力として発信する。 ●外国人歩き遍路に人気の高い古道（遍路道）の利活用を進める。 ●ワールドマスターズゲームズ2021 関西の開催を機に，美波町に訪れる外国人に対して観光プロダクトを販売する。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●「まぜのおかオートキャンプ場」・「蛇王運動公園」・「B&G海南海洋センター」などの複合的スポーツ・レジャー施設の機能を最大限に利用した，企業・大学などのイベント・スポーツ合宿等の積極的な誘致活動やPR活動を行う。 ●町のキャラクター「ふるるん」を用いて県内外のイベント等に積極的に参加し，海陽町の魅力等のPRを行う。 ●地域に埋もれている歴史的・文化的・自然的資源を掘り起こし，地域の魅力として発信し，観光資源につなげる。 	海陽町

【プラン7】ストレスフリーな旅行環境の整備

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	来訪者の満足度（7段階評価中最高評価の割合）〈再掲〉 〈'17〉 → 〈'22〉 25%以上	25%以上	25%以上	25%以上	25%以上

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	外国人旅行者の多くはインターネットを通じて地域ならではの食や体験、宿泊などの情報を入手するため、無料Wi-Fi（無料公衆無線LAN）の整備や利用場所を周知する取組を推進します。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
2	外国人旅行者が「四国の右下」を訪れた際、観光地としての魅力を十分に伝えるため、旅行者にとって分かりやすい観光・地点案内表示など多言語表記の整備を促進します。	(ア)	南部総合県民局 県土整備部
3	外国人旅行者が買い物しやすい環境を提供し「四国の右下」での消費を促進するため、観光施設や店舗でのQRコード等のキャッシュレス決済の導入を推進する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
4	歩き遍路の方々が荷物なく手軽に「四国の右下」を楽しむことができるよう手ぶら観光を推進するとともに、外国人対応ができる取扱店舗を拡大する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●牟岐町アプリの登録を推進することにより、カテゴリごとに町内の多言語化された情報を受けることが可能となる。 ●観光施設等でのWi-Fi環境整備やキャッシュレス化の推進を図る。 ●牟岐町の遊び、食、宿泊などの体験ツアーを実施し、食だけでなく体験観光と合わせた交流事業を実施する。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●外国人観光客誘致促進のため、ホームページ、パンフレットの多言語化、観光案内所への通訳者の配備、Wi-Fi環境整備、多言語案内板整備を実施する。 ●ワールドマスターズゲームズ2021関西を見据え、様々な関係者と連携を強化し、外国人対応力の向上に努める。 ●増えている欧米系の外国人お遍路のニーズ（ベジタリアン、ビーガン）に対応出来るよう、町内飲食店と連携を図る。 ●観光案内所における外国人旅行者の災害時における携帯電話等の充電、災害情報の伝達環境、外国語表記の津波避難マップ等を整備し、安心して旅行できる環境を整える。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●町内の観光スポット・宿泊施設・飲食店案内のパンフレット等を作製し、道の駅等で配布するとともに、ホームページに掲載する。また、外国語版のパンフレット作成について検討する。 	海陽町

(2) 交流が広がる交通体系の構築

【プラン8】道路ネットワークの整備促進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	四国横断自動車道（徳島JCT～阿南）の整備 〈'17〉 工事施工中 → 〈'22〉 工事促進中 〈'20〉部分供用 徳島沖州東～徳島津田間 〈'21〉部分供用 徳島JCT～徳島沖州東	促進			
			部分供用	部分供用	
2	阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備 〈'17〉 ～ 〈'22〉 用地買収促進中	促進			
3	阿南安芸自動車道（福井道路）の整備 〈'17〉 ～ 〈'22〉 用地買収促進中	促進			
4	阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備 〈'17〉 調査中 → 〈'22〉 用地買収促進中	促進			
		事業着手			
5	一般国道55号阿南道路の整備 〈'17〉 那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事施工中 → 〈'22〉 一般国道195号から橘町青木（一般国道55号） 調査設計促進中	促進			
		4車線 化完成			
6	一般国道55号牟岐バイパスの整備 〈'17〉 工事施工中 → 〈'22〉 工事促進中	促進			
7	阿南ICへの追加ランプ設置（阿南勝浦線） 〈'17〉 調査設計中 → 〈'22〉 工事推進中	推進			
8	阿南安芸自動車道（海部野根道路）の整備と合わせた穴喰地区地域防 災公園へのアクセス道路の整備（久尾穴喰浦線） 〈'17〉 調査設計中 → 〈'22〉 工事推進中	推進			
9	主要地方道阿南小松島線 持井工区の整備 〈'17〉 用地買収中 → 〈'22〉 工事推進中	推進			

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	近畿及び四国内の交流基盤となる四国横断自動車道（徳島JCT～阿南間）の整備を促進する。	(ア)	南部総合県民局 県土整備部
2	高規格幹線道路と一体となって、高速交通ネットワークを形成する地域高規格道路である阿南安芸自動車道（桑野道路、福井道路、海部野根道路）の整備を促進する。	(ア)	南部総合県民局 県土整備部
3	一般国道55号阿南道路那賀川大橋周辺2.1kmの4車線化工事及び一般国道195号から一般国道55号（橘町青木）までの間の整備を促進する。	(イ)	南部総合県民局 県土整備部
4	一般国道55号牟岐バイパスの整備を促進する。	(イ)	南部総合県民局 県土整備部
5	阿南安芸自動車道の整備効果を県南部に波及させる阿南勝浦線などの関連道路、地域間交流の促進や防災力の強化、渋滞緩和等に寄与する一般国道193号、一般国道195号、阿南小松島線などの主要幹線道路の整備を推進する。	(イ)	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	市町名
●「四国の8の字ネットワークのミッシングリンクの解消」に向け、平時の救急救命や災害発生時における「命の道」として必要な「海部野根道路」について、早期事業化を関係町・県と連携し、国に要請する。	海陽町

【プラン9】次世代に向けた新たな地域公共交通ネットワークの構築

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	「次世代公共交通ビジョン」の策定 〈'17〉 - → 〈'19〉 策定	策定	-	-	-
2	DMVを活用した観光コンテンツ 〈'17〉 - → 〈'22〉 推進	開発準備	開発・推進	推進	推進
3	阿佐東線へのDMV導入 〈'17〉 - → 〈'21'20〉 導入	推進	推進 導入	導入	-

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	「革新的な公共交通ネットワーク」の構築に向け、多様な担い手によるモーダル・ミックスを中心に、まちづくりと連携した交通網を形成し、利用者の増加につながる好循環を生み出せるよう、未来に向けた「地域公共交通の羅針盤」として「次世代地域公共交通ビジョン」を策定する。また、国・県・市町村、バス・鉄道事業者で構成する「徳島県生活交通協議会ワーキング部会」において、「公共交通の最適化」に向けて取り組む。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町
2	(一社)四国の右下観光局や(株)阿佐海岸鉄道など関係機関と連携し、観光周遊ルートづくりをはじめとするDMVを活用した魅力ある観光コンテンツを開発する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
3	阿佐東線に2021年度導入予定のDMV等を活用し、中学校の総合学習、各種イベントによる利用促進と地域のにぎわいづくりに取り組む。また、四国の右下55フリー切符等の企画切符についても、各種イベントでのPRにより、利用促進を図り、観光振興に繋がるよう取り組む。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課
4	阿佐東地域へ、国が一定の評価を示し実用化が可能となったDMVの導入や鉄道活性化に向けた取組みを促進する。	(ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部 次世代交通課 海陽町

	市・町関連施策	市町名
	<ul style="list-style-type: none"> ●民間バス事業者が運行する、市中心部と那賀川・羽ノ浦両町を結ぶ循環バス「ナカちゃん号」の運行支援を行う。 ●運行事業者である徳島バス(株)、徳島バス阿南(株)と協働し、持続可能な交通体系を構築する。 ●既存の交通モードにとらわれない、交通手段の確保に向けた検討を行う。 	阿南市
	<ul style="list-style-type: none"> ●75歳以上の高齢者及び運転免許自主返納者を対象としたタクシー料金助成制度継続、また、徳島バス南部への補助を継続することで、地域住民の生活交通の確保を図る。 ●日常的な交通体系の整備にあわせ、観光的な交通体系(レンタルサイクリング・シータクシー)を模索・検討する。 	牟岐町
	●2系統化し利便性を高めた美波病院連絡バスを維持するとともに、拡充した高齢者タクシー助成事業を引き続き実施し、住民の生活交通の確保と美波町の交通体制の構築を図る。	美波町
	●人口減少が進む現状において、関係町・県と連携し、持続可能なJR・阿佐海岸鉄道・徳島バス南部・町営バス等の公共交通ネットワークの再構築を検討する。	海陽町

3 成長産業化による豊かな地域づくり

(1) 地域産業の担い手の育成と確保

【プラン10】次代を担う人材の育成

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計） 〈'17〉 ー → 〈'22〉 16件	4件	8件	12件	16件
2	新規就農者数（累計） 〈'17〉 72人 → 〈'22〉 146人	101人	116人	131人	146人
3	施設キュウリ栽培における新規就農者数（累計） 〈'17〉 9人 → 〈'22〉 32人	20人	24人	28人	32人
4	新規林業就業者数（累計） 〈'17〉 55人 → 〈'22〉 100人	70人	80人	90人	100人
5	小中高校に対する森林・林業学習の実施（累計） 〈'17〉 10件 → 〈'22〉 60件	30件	40件	50件	60件
6	新規漁業就業者数（累計） 〈'17〉 62人 → 〈'22〉 118人	85人	96人	107人	118人
7	県内高校生等の漁業体験者数（年間） 〈'17〉 20人 → 〈'22〉 30人	30人	30人	30人	30人

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	海部地域において、施設キュウリ栽培の担い手を確保するため、JAや地域の篤農家と連携し、実践的な技術指導を行う「海部きゅうり塾」を開講し、 ニューノーマルに対応した研修やPRを拡充することにより 、移住者等の新規就農・自立を支援する。	(ア, ウ)	南部総合県民局 農林水産部
2	若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。	(ア, エ)	南部総合県民局 農林水産部
3 追加	高大連携や地域・民間連携の拠点となる高校・大学・地元企業が一体化した阿南光高校新野キャンパスを創設し、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発に取り組むことにより、地方創生の原動力となる人材を育成します。	(ア)	教育委員会
4 3	四国の右下を訪れる観光客の満足度を高めるため、一般社団法人四国の右下観光局が行う観光人材育成事業を通じて、おもてなしの心で接する観光ガイドや、地域の魅力を体感する体験インストラクター、国際スポーツ大会での外国人対応する通訳ボランティアなど観光人材の育成に取り組む。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
5 4	UJIターン者等に対して新規就農への意欲喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な拡大を図るため、「農業次世代人材投資事業」を実施する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部
6 5	就農希望者等を対象とした営農基礎研修「けんなんニューファーマー育成講座」を通じて、農業の基本的な栽培技術から関連制度まで、広範囲で基礎的な知識、技術の習得を図るとともに、経営バランスのとれた人材を育成し、就農と地域への早期定着を支援する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部
7 6	「那賀町林業テクノスクール」との連携により、新規就業者を対象にした林業技術研修を段階的に実施し、新規就業者のレベルアップと定着化を図られるよう、林業事業体等を支援する。	(エ)	南部総合県民局 農林水産部
8 7	和食 県有林にある「フォレストキャンパス 那賀 」を拠点に、「とくしま林業アカデミー」を対象にした現地研修や、「那賀高校森林クリエイト科」を対象にした林業実習を実施することによって、即戦力となる人材を育成する。	(エ)	南部総合県民局 農林水産部
9 8	豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。	(エ)	教育委員会

10 9	料理教室やSNSなどによる情報発信を通じて魚食普及活動を行っている椿泊地区の若手漁業者団体「魚っS UN's」を支援する。 (オ)	南部総合県民局 農林水産部
11 49	「とくしま漁業就業マッチングセンター」の開設や、誰もが学べる「とくしま漁業アカデミー」の開講等を通じ、地域漁業の未来を担う青年漁業者を確保・育成する。 (オ)	南部総合県民局 農林水産部
12 44	県内高校生を対象に、漁協と連携して、海士や小型定置網等の実践的な体験漁業に取り組むことによって、漁村地域における就業希望者の積極的な受け入れに向けた意識の醸成を図る。 (オ)	南部総合県民局 農林水産部

市・町関連施策		市町名
●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図り、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図る。		那賀町
●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会、JAかいふ、徳島県と連携し、超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化、今以上の関西方面への販路拡大を図る。 ●牟岐の農業を守る会と株式会社泉源の商品である牟岐の米と魚を用いた特産品のプッシュアップを進め、6次産業化による消費拡大及び販路開拓を図る。また牟岐町特産品のブランド化を図る。 ●牟岐の農業を守る会、JAかいふと連携し、モチ麦の生産・販売とモチ麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。 ●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経たことから、輸出が開始されており継続して輸出を行う。また、JAかいふ、徳島県と連携し、収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくる。より6次化を強化して国内での販売につなげる。		牟岐町
●全国の希望者を対象に、短期（1週間）～中期（1ヶ月）間程度、一次産業に従事し、就業体験（インターンシップ事業）を行い、一次産業の後継者不足の解消と、移住・定住の促進を図るとともに、起業に係る各種助成制度を創設し、新規就業者に対する支援を行う。		海陽町

【プラン11】担い手を育む地域の育成

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	J Aかいふの「交流拠点施設」を核とする体験交流ツアーや施設受入れ等の参加者数（累計） 〈'17〉 → 〈'22〉 1,000人	400人	600人	800人	1,000人
2	「農の里」に取り組む地域数（累計） 〈'17〉 → 〈'22〉 4件	1件	2件	3件	4件
3	観光人材を育成するための講座・研修の実施（累計）（再掲） 〈'17〉 → 〈'22〉 16人	4件	8件	12件	16件

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	海部地域の特産品「施設キュウリ」を核とした地域創生をめざす「きゅうりタウン構想」の実現のため、「交流拠点施設」を中心に生産者や消費者への全国に向けた情報発信を行いつつ、移住促進による担い手確保と新規就農者の定着化を促進する。 また、「海部きゅうり塾」に続き、「オクラ・なのはな塾」を展開するなど、「きゅうりタウン構想」で蓄積したノウハウの他品目・地域への横展開を図りながら、担い手確保による産地再生に取り組む。 (イ)		南部総合県民局 農林水産部
2	阿南・那賀地域において、ブランド品目の生産力の維持・産地強化を図るため、動画配信を活用した情報発信やスマート農業導入に取り組み、産地や地域住民が主体となり「担い手確保」と「もうかる農業」を実践する「農の里」づくりを推進する。 (ウ)		南部総合県民局 農林水産部
3	担い手の高齢化、後継者不足の対応策として、地域農業の生産性向上や農業生産活動の維持を図るため、営農の全部又は一部を協働で行う集落営農組織の育成及び担い手農家への農地集積を推進する。 (ウ)		南部総合県民局 農林水産部
4	県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。 (エ)		南部総合県民局 農林水産部
5	林業成長産業化地域創出モデル事業の実施や、「那賀町テクノスクール」との連携、小中高生に対する林業体験に取り組み、林業担い手の定着を推進する。 (エ)		南部総合県民局 農林水産部
6	インバウンドの取組を強化するため、国際スポーツ大会の開催を見据え、 外国人目線での観光資源の発掘や、HP・SNSなどの多言語化を図るとともに、国際スポーツ大会で外国人の対応を行うボランティアの育成に取り組む。 (オ)		南部総合県民局 地域創生防災部

	市・町関連施策	市町名
	●産業の発展と振興及び農村を含む地域全体の活性化を図るため、「阿南市活竹祭」を開催し、特産品の販売をするなど阿南のPRに努める。	阿南市
	●高校生・大学生等の新規就業者と都市等からの那賀町移住希望者を対象に、町と連携する雇用業者が農林業新規就業者募集を実施する。併せて、既存空き家屋等を雇用事業者が借り上げるシステムづくりを推進する。そして、借り上げた家屋を居住用を使用するにあたって改修が必要な場合、町はその改修費用の補助を雇用事業者に対して行う。これら施策により農林業新規雇用の増進を図る。	那賀町
	●道の駅日和佐の物産館入り口脇の、ワンディシェフ的な活用が出来るチャレンジショップを利用し、集客の向上に加え、飲食関係事業等の新たな展開を模索する。 ●農家の後継者不足解消及び農地保全に向けて、モデル地区を設定し、農作業を請け負う仕組みを研究する。	美波町

(2) 生産を増やし需要を拡大する「もうかる農林水産業」の推進

【プラン12】世界にはばたく農畜産物のブランド化・6次産業化等の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	ゆず・阿波尾鶏等の海外輸出量 (’17) 19t → (’22) 40t	31t	34t	37t	40t
2	「GI木頭ゆず」の6次化商品開発数(累計) (’17) — → (’22) 10商品	4商品	6商品	8商品	10商品
3	南部の女性ネットワークを活用した6次化商品開発数(累計) (’17) — → (’22) 4014商品	45商品	68商品	811商品	1014商品

	主要施策・主要事業	※()書きは、南部圏域振興計画(第4章)の「今後の取組み」を示す	担当
1	那賀川流域を中心とした汎用性の高い農地の整備や、良質な農業用水の安定供給に努めることにより、ブランド産地を支援する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
2	TPP11や日EU・EPA(EUとの経済連携協定)などの経済グローバル化にも対応し、南部圏域の基幹農業である施設園芸や土地利用型農業において、次世代に向けた生産・流通での構造改革を推進するとともに、ブランド品目及び育成品目等を中心とした「攻め」と「守り」のきめ細やかな支援により、産地の「体質強化」を実現する。	(ア、イ、ウ、エ、カ)	南部総合県民局 農林水産部
3	丹生谷地域の「木頭ゆず」については、地理的表示(GI)を活かし、他産地との差別化やEU等への青果・加工品の輸出促進など販路拡大を推進する。 また、「阿波尾鶏」の輸出拡大に向けて、「地域商社阿波ふうど」等と連携を図りながら、重点的な輸出先である香港での販売促進や他国・地域への販路拡大を支援する。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
4	南部ならではの魚類、海藻類やキュウリ等の農水産物を活用した6次産業化の推進のため、6次産業化に取組む女性や関係事業者等とのネットワークを構築することで、 女性視点の魅力ある商品の開発・販路拡大、農家レストランや農業体験等を支援する。 また、多様な女性の視点と情報網を持つネットワークを活かし、「実生ユズ」等を用いた魅力ある商品の開発・販路拡大、農家レストランや農業体験等を支援するとともに、南部地域を代表する特産品となり得る「農水連携」による新たな6次産業化商品の開発・PR等を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部
5	商品と地域の「物語」をバイヤーや消費者に伝える「ストーリーテラー(商品の語り部)」を育成し、商品とその背景にある地域のPRを強化することで、6次産業化商品の販路拡大やインハウンドの誘客促進に繋げる。	(オ)	南部総合県民局 農林水産部
6	那賀町の特産品「ケイトウ」を中心とした花き産地の再生・活性化を図るため、スポーツイベントのピクトリーブーケとして提案するなど、新たな需用拡大を図るとともに、生産供給体制の強化や人材育成に取組む。	(カ)	南部総合県民局 農林水産部

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●「木頭ゆず」の更なるブランド化を推進する為、フランスなど海外において商談会への出展・ゆず産地PRを図り、新たな雇用環境の仕組みづくりを検討し、担い手の育成を図る。とともに、ゆず商品の6次産業を進める。 ●鹿肉加工商品を開発販売し、ブランド化することにより、地場産業として定着化させ地域の雇用創出を図る。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●牟岐町ハナエチゼン栽培研究会、JAかいふ、徳島県と連携し、超早期米「はなえちぜん」のさらなるPRとブランド化、今以上の関西方面への販路拡大を図る。 ●牟岐の農業を守る会と株式会社泉源の商品である牟岐の米と魚を用いた特産品のプッシュアップを進め、6次産業化による消費拡大及び販路開拓を図る。また牟岐町特産品のブランド化を図る。 ●牟岐の農業を守る会、JAかいふと連携し、モチ麦の生産・販売とモチ麦を使用した商品開発を町外の大学生と連携して行い消費拡大と販路開拓を図る。 ●「実生ゆず」がフランスのミシェランガイド掲載の三ツ星レストランのシェフに高評価を経たことから、輸出が開始されており継続して輸出を行う。また、JAかいふ、徳島県と連携し、収穫者を含め安定した収穫の仕組みをつくる。より6次化を強化して国内での販売につなげる。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●商工会や観光協会、漁業協同組合、JAかいふ、場合によっては民間事業者や大学等とも連携を模索し、新たな技術や装置の試験導入も試みながら、既存産品をベースとして或いはいくつかの産品を組み合わせる新たな産品を創出し、販路開拓を試みる。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●有機作物栽培の元気農業研究会(勉強会)の実施。海陽町野菜のブランド化を行うとともに消費者へ向けた野菜の価値をPRし、消費拡大、新規販売ルートの開発を目指す。 	海陽町

【プラン13】 県南ならではの水産物のブランド化等の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	水産加工品の開発数(累計) 〈'17〉 1商品 → 〈'22〉 10商品	4商品	6商品	8商品	10商品
2	水産物出荷・流通施設の整備箇所数(累計) 〈'17〉 13箇所 → 〈'22〉 25箇所	19箇所	21箇所	23箇所	25箇所
3	水産関係の6次産業化の取組件数(累計) 〈'17〉 8件 → 〈'22〉 12件	9件	10件	11件	12件
4	魚・貝類の種苗放流の実施件数(累計) 〈'17〉 41件 → 〈'22〉 69件	51件	57件	63件	69件

	主要施策・主要事業	※ () 書きは、南部圏域振興計画(第4章)の「今後の取組み」を示す	担 当
1	海部郡の全42漁協、関係町等で組織する「とくしま海部水産物品質確立協議会」を中心に、海部郡内の水産物の産地強化を支援するとともに、ブランド化、6次産業化を推進し、漁家所得の向上、漁協経営の安定を図る。 また、生産者等による「インターネット通販」を活用した販路拡大の取組みを支援する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
2	漁協の冷凍冷蔵庫、活魚出荷施設など、出荷・流通施設整備を支援し、品質向上による漁家経済の安定・向上を図る。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
3	海藻、貝類の養殖拡大を視野に入れ、大学や企業と連携し、新しい漁業の創出を図る。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部 美波町
4	漁業関係者と大学等が連携して、地元食材、低利用・未利用の素材を用いた新商品の開発などの活動を支援する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部 海陽町 美波町
5	自治体や漁協が実施する種苗放流および増養殖場整備など、資源増大や漁場機能の回復を図る取組みを支援する。	(エ)	南部総合県民局 農林水産部

	市・町関連施策	市町名
	●広域浜プランの取組みの ひとつである 、 によりスタートした アワビ輪採制事業で収穫したアワビのブランド化を図る。 ●「アワビまつり」において、漁協と連携してアワビをはじめとする地元鮮魚・魚介類の販売や海を活かしたPRを実施することで、交流人口の増加を図る。	牟岐町
	●美波の海の恵み研究会等が、海藻養殖事業にてブランド化した早摘みワカメ“明けの春姫”とワカメめかぶを配合した植物発酵エキス配合飲料“ハルヒメ”の販路拡大を支援する。	美波町
	●町内3漁協(浅川、鞆浦、穴喰)合同で「とれとれ市」(鮮魚販売)を漁協主体により開催する。また、冷凍加工設備を使用し、地元食材を学校給食に提供するとともに新商品と販売ルートの開発を行う。	海陽町

【プラン14】 県南林業の成長産業化の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	県産材の生産量 〈'17〉 15.2万㎡ → 〈'22〉 26.3万㎡	20.9万㎡	22.4万㎡	23.8万㎡	26.3万㎡
2	主伐後の再造林面積 〈'17〉 79ha → 〈'22〉 95ha	80ha	85ha	90ha	95ha
3 追加	森林境界の明確化面積(累計) 〈'19〉 19,505ha → 〈'22〉 21,500ha	—	—	20,800ha	21,500ha

	主要施策・主要事業	※()書きは、南部圏域振興計画(第4章)の「今後の取組み」を示す	担当
1	年々充実を続ける森林資源の積極的な活用を図る「スマート林業プロジェクト」を推進する。	(ア)	スマート林業課 南部総合県民局 農林水産部
2	「ウッドソリューションセンター」を中心に、事業地確保による主伐等の推進に向けた取組みを展開する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
3	これまで取り組んできた搬出間伐に加え、主伐による県産材の増産を図るため、先進的な林業機械の導入や効率的な路網の整備等により、生産性の向上を図るとともに、主伐後の再造林も積極的に行い、森林資源の循環利用と持続的な林業を展開する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
4	主伐後の造林経費の負担軽減を図るため、植栽時期を選ばず、年間を通じて植栽が可能となる次世代苗木(コンテナ苗)を活用した造林を推進する。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
5 追加	林業遺産である樺木林業での施業方法を継承しつつ、広葉樹資源の循環型林業の推進と木材の新たな需要開拓・促進に向けた担い手への積極的な支援を行う。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
6 5	平成31年度4月から施行された「森林経営管理法」に基づき、市町村が主体となった「新たな森林管理システム」の構築・運用を支援するとともに、「森林環境譲与税」の積極的な活用による森林の適正な整備・管理・担い手の育成、森林境界の明確化の推進、さらには木材の利用を促進するなど、「林業の成長産業化」に向けた取組みを加速する。	(ウ、エ)	南部総合県民局 農林水産部 スマート林業課
7 6	効率的な森林施業を実施するため、林道、 林業専用道 や森林作業道等を適切に組み合わせたネットワークを構築し整備するなど、計画的な林内路網整備を推進する。	(オ)	スマート林業課 森林整備課

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●新たな木材流通システムを確立し、流域の安定した木材供給と流通コストの縮減を図る。 ●木粉を材料とした二次製品の販路拡大に向けた市場調査等を支援する。 ●木づかい住宅支援事業により、町産材の活用を推進する。 ●里山の高林齢化した未整備林を整備し、地域住民の生活圏周辺の森林環境と生活環境の改善を図る。 ●林業の担い手確保と育成を図るとともに、新たな施業システムの導入に向けた研究・開発を推進する。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●森林環境譲与税並びに森林環境税を活用し森林の境界線を明確化することで、施業の効率化、高速化を図る。また、意向調査に基づき、とくしま南部地域森林管理システム推進協議会等と連携を図りながら、森林の資源管理、経営についての可能性を探る。 ●整備されていない広葉樹林帯から備長炭を作り、備長炭を活用した新たな商品開発に取り組む。また、樺木林業による循環型林業の推進を図り、体験型林業をとおして人材育成を推進する。 ●木材利用のため、大学の建築サークルやかいふの木の家と連携して、町有施設改修事業において木材利用を推進する。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●森林環境譲与税を活用し、森林整備をはじめ、担い手の確保や林業就業者の育成を図る。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金対象を拡充し、町産材の活用を推進する。 	海陽町

(3) 「超スマート社会」の実現

【プラン15】「スマート農林水産業」の推進

主要業績指標		2019	2020	2021	2022
1	年収1,000万円を目指し次世代園芸技術を導入したキュウリ農家の10aあたりの収量 〈'17〉 23t → 〈'22〉 30t	25t	28t	29t	30t
2	ドローン活用した林業用防護柵の見回り地区数 〈'17〉 試験実施 → 〈'22〉 推進	実証試験実施	推進		→
3 追加	産業用ドローンを活用する林業事業体数（累計） 〈'19〉 ー → 〈'22〉 4事業体	ー	ー	2事業体	4事業体
3 4	ICTを用いた海水温の観測機設置箇所数 〈'17〉 ー → 〈'22〉 5箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所

主要施策・主要事業		※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	「きゅうりタウン構想」を実現するため、次世代園芸技術（養液栽培、複合環境制御、IoT技術）の導入・定着を図り、ベテラン農家並の多収技術を確立することにより、新規就農者の生産性向上を実装するモデルを構築する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
2	林地において、ドローンを活用したシカ防護柵の管理技術の実証や森林調査の利用などを検討するとともに、 苗・資材を運搬する産業用ドローンの林業事業体での活用を推進し 、林地管理の効率化を促進する。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
3	ICT技術を用いて海水温等のデータを集積し、漁獲量との関連性を調べるなど、「リアルタイム水質情報配信システム」の活用を促進する。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部 水産研究課

【プラン16】革新技术を活用した地域課題の解決

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	コワーキングスペースを活用した地域課題の解決や新しいビジネス創出 〈'17〉 - → 〈'22〉 推進	推進			→
2	LED新製品開発支援件数（県全体・累計） 〈'17〉 145件 → 〈'22〉 290件	200	230	260	290
3	LED応用製品の海外市場開拓数（県全体・累計） 〈'17〉 10ヶ国 → 〈'22〉 18ヶ国	12	14	16	18

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	水産研究課美波庁舎に設けたコワーキングスペース「ミナマリラボ」等において、サテライトオフィス、大学、地元企業、地域住民等多様な主体が連携した地域課題の解決への取組みやAI、IoTなどSociety5.0の革新技术に対応できる人材の育成等を促進する。	(ア、イ)	南部総合県民局 地域創生防災部 各町
2	IoT・AI等を活用し、費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図るため、予防保全等の計画的なインフラのメンテナンスを推進する。〈再掲〉	(ウ)	南部総合県民局 県土整備部
3	土砂災害による被害から生命・財産を守るため、IoTを活用した雨量計の整備により、土砂災害警戒区域に関する情報を広く地域住民等に対して周知するとともに、 さめ細やかな雨量情報を提供し、住民の適切な避難を支援する。 IoT雨量計の設置を推進する。〈再掲〉	(ウ)	南部総合県民局 県土整備部
4	今後の労働力不足に対し、安全で魅力ある建設現場とするため、「i-Construction」の取組みを推進し、建設現場の生産性向上を図る。	(エ)	南部総合県民局 県土整備部
5	LEDバレイ徳島の世界展開を進めるため、LED関連企業の開発・生産、ブランド化、販路開拓などを支援することにより、次世代LED産業クラスターの形成を推進する。	(ア、イ)	新未来産業課
6	徳島大学など県内高等教育機関、県内企業、工業技術センターの共同研究の推進等により、LED応用製品の開発支援に取り組む。	(ア、イ)	新未来産業課
7	県内LED関連企業が開発・生産する高品質なLED応用製品を大規模展示会から発信し、国内外市場における販路開拓を支援する。	(ア、イ)	新未来産業課

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●阿南市における「LED光のまちづくり」の各種施策について研究・検討する。 阿南工業高等専門学校等の学術機関及びLED関連企業との連携を強化する。 ●阿南高専と連携して設置したインキュベーションセンターにおいて、LED製品など新たな技術を開発する企業等を支援する。 県と連携したとくしまイノベーションセンター等の活用促進を図る。 ●インターネット動画サービス等により、「青色LED発祥の地 阿南」「光のまち 阿南」を世界に発信することで、新しい利用の方向性を求める。 ●「光のまちステーションプラザ」を核としたLED体験・体感の充実を図る。 	阿南市
●地域課題解決のための事業を、産官学連携によりICTを活用して実証を進める。	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●止まらない通信網の平時利活用のため更なる技術導入並びに全町展開に向けスマートシティ構想の構築を図る。 ●サテライトオフィス、大学等と連携し、防災対策など地域課題解決に向け取り組んでいる事業のさらなる発展と充実を図る。 	美波町
●ドローンの活用により、農林業への利活用等地域課題の解決に向けた社会実装を行う。	那賀町

4 豊かな自然と調和した地域づくり

(1) 美しく豊かな自然環境の保全と継承

【プラン17】多様な自然環境の保全

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	民間協働で取り組む自然資源の保護活動支援者（千年サンゴサポーター）数 〈'17〉 321人 → 〈'22〉 360人	330人	340人	350人	360人
2	公的管理森林面積（累計） 〈'17〉 2,592ha → 〈'22〉 4,900ha	3,800ha	4,200ha	4,500ha	4,900ha
3	狩猟免許新規合格者数（累計） 〈'17〉 333人 → 〈'22〉 540人	420人	460人	500人	540人

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	県南部の生物多様性の保護と「千年サンゴ」をはじめとする貴重な自然資源を守り、次世代に継承するため地域住民等と連携した保護活動を推進する。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部
2	水源林をはじめとする環境や防災面で重要な森林について、所有者の管理放棄や目的が明らかでない森林買収などに対応するため、公有林化（県版保安林、県・市町有林化等）を進め、適切な保全を図る。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部
3	造林・間伐による人工林の適正な整備や、「樺木林業」による広葉樹林の整備など、健全で豊かな森林の維持造成を図る。	(ウ)	南部総合県民局 農林水産部
4	「徳島県二ホンシカ適正管理計画」の達成のため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲に加え、指定管理鳥獣捕獲等事業による県が主体となったシカの個体数調整捕獲を推進する。	(エ)	鳥獣対策・ふるさと創造課
5	狩猟への関心を高めるため、各市町の鳥獣被害対策協議会や研修会等において情報提供を行うとともに、働く世代が狩猟免許を取得しやすいよう、日曜日に試験を実施することで、新たな狩猟人材の確保を図る。	(エ)	南部総合県民局 保健福祉環境部

	市・町関連施策	市町名
	●生物多様性あなん戦略に基づき、「阿南市生物多様性ホットスポット」選定地の保全・活用の仕組みづくりについて関係者及び関係団体等と共に検討し、課題を共有する。	阿南市
	●「美波町ウミガメ保護条例」に基づき、「大浜海岸のウミガメ及びその産卵地」の保全を図るとともに、イベント等を通じて自然環境保護の重要性を啓発し、ウミガメと人間が共存出来る豊かな自然環境を守る。 ●美波町の回帰率向上拠点計画の実現に向けた5ヶ年計画で、日和佐うみがめ博物館の改修を行う。 ●ウミガメ保護から始まり、豊かな自然環境を次世代に繋ぐためSDGsの取り組みを推進する。	美波町
	●「海陽町海部川保全条例」・「海陽町ふるさとの水を守る条例」の制定により、きれいな水環境の実現を図る。 ●竹ヶ島海中公園自然再生協議会を通じてエダミドリイシの採卵、稚サンゴ育成と移植及びサンゴ育成モニタリング調査の実施による保全・再生活動を行う。	海陽町

【プラン18】総合的な環境教育・環境学習の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	環境啓発イベント等に参加 又は県南部の環境問題についてオンライン学習 し、具体的な環境行動を宣言する人数（累計） 〈'17〉 ー → 〈'22〉 400人	100人	200人	300人	400人
2	「みなみから届ける環づくり会議」の「環境ボランティア活動証明制度」を活用した環境ボランティア受入れ団体数 〈'17〉 ー → 〈'22〉 5団体	3団体	3団体	4団体	5団体
3	牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数 〈'17〉 800人 → 〈'19~'22〉 年間900人	900人	900人	900人	900人
4	小中高校に対する森林・林業学習の実施（累計）〈再掲〉 〈'17〉 10件 → 〈'22〉 60件	30件	40件	50件	60件

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	地域の実情に適応した生活排水の適正処理を推進するため、水質保全に関する啓発を行うとともに浄化槽キャンペーンや浄化槽の維持管理に関する啓発・指導を実施する。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部
2	みなみから届ける環づくり会議の水質ワーキングが中心となり、 親子家族 連れを対象とした水環境保全に関する環境教育を実施する。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部
3	若年層を対象に県南の海をフィールドにした体験型イベントや講座、 オンライン学習 を通じて海洋環境の現状を学び、保全のため自分たちが何ができるか考える機会を創出し、具体的な環境行動を促します。	(イ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
4	牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験 や出張授業による自然学習 、交流体験、食育等を推進する。	(イ)	教育委員会
5	みなみから届ける環づくり会議が策定した「環境ボランティア活動証明制度」を活用して、高校生等が地域の環境ボランティアに参加しやすい仕組みづくりを推進する。	(ウ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
6	豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。〈再掲〉	(ウ)	教育委員会
7	河川環境保全への意識啓発を行うとともに、「徳島のみずべ」の魅力を発信する環境学習やフィールド講座を実施する。	(エ)	南部総合県民局 県土整備部
8	若手林業従事者「山武者」や「もりもり」など地域林業関係者との連携を図り、小中高等学校および大学生を対象とした森林・林業体験を実施し、森林・林業への理解を深めるとともに、林業の担い手の確保につなげる。〈再掲〉	(ウ),(エ)	南部総合県民局 農林水産部
9	県民が木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動である「木育」を推進するため、木とふれあい、木に学び、木でつながることができる「木育の拠点」を整備する。〈再掲〉	(ウ),(エ)	南部総合県民局 農林水産部
10	土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。	(ウ),(エ)	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課

市・町関連施策	市町名
<p>●食と健康のつながり、食の大切さを学ぶ「薬食同源」を推進するため、食育キャラクター（海陽戦隊ゲンキレンジャー）による子どもへの食育啓発、関係機関とともに小学生を対象とした栽培体験授業や思春期の子どもを持つ保護者を対象とした食育講演会の実施、また、地元の主婦を対象として料理研究家を招き、地元食材を使った料理等の開発や広報誌・HPで旬の農水産物とそのレシピの紹介を行う。</p> <p>●農水産物の直産市の開催や学校給食・保健福祉施設等における地域食材の積極的利用、地産地消協力店・生産者の登録・HPでの紹介を行う。</p>	海陽町

(2) 豊富な自然資源等の利活用

【プラン19】自然と調和したまちづくりの推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組むモデル集落数（累計） 〈'17〉 7集落 → 〈'22〉 28集落	16集落	20集落	24集落	28集落
2	「徳島県田園環境配慮マニュアル」に基づく事業計画策定地区数（累計） 〈'17〉 14地区 → 〈'22〉 19地区	16地区	17地区	18地区	19地区

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	侵入防止柵の設置などのハード整備とモンキードッグ育成や鳥獣を寄せ付けない環境整備などのソフト対策を組み合わせ、集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策を推進する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部
2	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のための地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を推進する取組み等を支援する。	(ア)	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
3	「阿波地美栄」の消費拡大やPRを推進するとともに、未利用資源の利活用を推進する。	(ア)	鳥獣対策・ふるさと創造課
4	景観や生物多様性など自然環境の保全を図るため、「徳島県田園環境配慮マニュアル」や「徳島県公共事業環境配慮指針」に基づき、環境負荷の少ない計画や工法を採用した公共事業に努める。	(イ)	南部総合県民局 農林水産部 県土整備部
5	省エネルギー対策を推進するためとして、県管理道路における道路照明灯等のLED化を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 県土整備部
6	県管理道路において、道路景観の向上のみならず、県産材（間伐材）の利用促進に効果的で、木材産業の活性化に寄与する木製（間伐材）ガードレール等の整備・修繕を推進する。	(エ)	南部総合県民局 県土整備部

市・町関連施策	市町名
●阿南市内にある水銀防犯灯のLED型防犯灯への交換を検討する。	阿南市
●牟岐の自然を守り、次世代継承のため、地元住民、団体などによる連携のもと、自然と共存するまちづくりに向けた環境保全活動、地域の活性化に繋がる活動を推進する。	牟岐町
●田井ノ浜、恵比須浜、沿岸域や沖合ダイビングスポット、日和佐川中・上流域など、改善や拡充の余地を有する空間を再調査し、観光協会や関係住民等と連携しながら集客スポットとして再生又は創出する。 ●県猟友会が実施する研修会や狩猟免許受験費用の一定額を助成することで、新規狩猟免許取得者を確保し、有害鳥獣駆除従事組織の持続に努める。 ●ウミガメを含む生物に悪影響のある光害に対して、関係機関が連携し対策を模索する。	美波町
●海陽町産材活用住宅建築推進事業費補助金の対象を新築住宅だけでなく、増築・店舗・倉庫等にも対象を拡充し、町産材の活用を促進することにより、町産材の流通を活性化し、未管理森林の発生を防止し、健全で豊かな森林の維持・造成を図る。 ●町内にある防犯灯を、新設又は更新するものから、順次LED型防犯灯へと転換する。 ●有害鳥獣の計画的な駆除及び集落単位での防護施設の整備等を図る。	海陽町

【プラン20】自然エネルギー・水素エネルギー活用の推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
4 削除	川口エネ・ミュ-年間延べ体験者数 〈'17〉17,370人 → 〈'22〉18,500人	17,500人	17,800人	18,100人	18,500人
1 追加	「川口エネ・ミュ-」におけるバーチャルコンテンツ体験者数〈再掲〉 〈'19〉- → 〈'22〉9,000人	-	-	8,000人	9,000人
2	燃料電池バスの運行 〈'17〉- → 〈'22〉運行	推進	推進	推進	運行
3	エコカーを活用した電力供給に関する普及啓発の実施数（累計） 〈'17〉5件 → 〈'22〉10件	7件	8件	9件	10件

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担当
1	「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」に基づき、温室効果ガス排出削減や分散型エネルギーによる災害対策、地域の活性化等を目的として、「自然エネルギー」の導入を促進する。 (ア)		自然エネルギー推進室
2	「スマート回廊」の魅力発信のため、川口ダム自然エネルギーミュージアム「川口エネ・ミュ-」とその周辺施設が連携し、ニューノーマルに対応したオンラインによるICT授業や、VRによるダム・発電所の施設見学、YouTube「川口エネ・ミュ-チャンネル」による動画配信等に取り組む。自然エネルギー活用、先端のデジタル・ロボットテクノロジーや科学展等の体験による賑わいづくりに取組みます。〈再掲〉 (ア)		企業局
3	地域防災力の向上を目指し、災害時の切り札となる自然エネルギーを活用した「自立・分散型電源」の導入を促進する。 (イ)		自然エネルギー推進室
4	地球温暖化対策の切り札となる究極のクリーンエネルギー「水素」の利活用拡大のため、「水素ステーション」の整備を促進するとともに、「燃料電池バス」をはじめ水素モビリティの積極導入を促進する。 (ウ)		自然エネルギー推進室
5	電気自動車など次世代エコカー（EV、FCV、PHV等）の優れた蓄電・発電機能を災害時の非常用電源として有効活用するため、県及び市町村の公用車を次世代エコカーに更新するとともに、それを用いて防災拠点や避難所等へ電力を供給する取組（V2Hの設置等）を推進する。 (エ)		自然エネルギー推進室

市・町関連施策	市町名
●地域の活性化とコミュニティの再生を図るため「地域自立型クリーンエネルギー発電事業」の可能性を調査する。	
●三重大学船岡教授が発明した相分離変換システムのパイロットプラントを整備しリグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体の製造実験を行う。 石油製品に替わる応用製品などを開発するため、リグノフェノール及びナノセルロース・リグノフェノール複合体のサンプル品を製造する。	那賀町
●災害対応も見据えバイオマスや太陽光など自然エネルギー活用の模索・検討を行う。	美波町
●町内の未利用地（工場跡地・土砂採石場跡地）等への企業による大規模太陽光発電施設の誘致や、住民への住宅用太陽光発電システム設置費用の助成制度などにより、「地域自立型クリーンエネルギー」の導入を促進する。	海陽町

5 にぎわいと笑顔あふれる地域づくり

(1) 訪れたい、住み続けたい魅力的な地域の創造

【プラン21】「四国の右下ファン」の創出・拡大

主要業績指標		2019	2020	2021	2022
1	県外からの移住者数 〈'17〉 380人 → 〈'22〉 500人	350人	400人	450人	500人
2	県外からの移住者数（45歳未満） 〈'17〉 282人 → 〈'22〉 350人	250人	280人	320人	350人
3	サテライトオフィスの誘致（累計） 〈'17〉 24社 → 〈'22〉 34社	28社	30社	32社	34社
4	南部圏域でのフィールドワーク参加学生数（延べ参加人数） 〈'17〉 535人 → 〈'22〉 500人	500人	500人	500人	500人

主要施策・主要事業		※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	大学生と地域の交流による「四国の右下ファン」の創出や大学生目線による地域課題の解決を目的に、南部圏域において県内外の大学生によるフィールドワークを実施する。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町
2 削除	「ひと」と「しごと」が好循環する持続可能な「まち」の実現に向け、県と市町で「『四国の右下』若者創生協議会」を設置し、「大学生と地域の“密な”連携・協働による関係人口の拡大・深化」、「地域ニーズに基づく人材誘致・育成による移住・定住」及び「集積を活かしたサテライトオフィスの誘致」を促進する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町
2 3	移住希望者を対象として、圏域内での担い手確保や新規創業を促し、働く場や地域おこし協力隊等の働き方を発信するとともに、商工関連団体との連携を強化することにより創業等をトータル支援する体制を構築、また、圏域内の生徒・学生を対象としたキャリア教育により、人材還流と地域活性化を推進する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
3 4	SNSや移住者フェア等を活用し、市町の移住相談で多い相談内容である空き家や仕事に関する情報などを全国へ発信し、県南部への移住に向けた関心の醸成を行う。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部
4 5	市町や移住者受入れに積極的な住民団体を対象とした移住の受入れに関する研修会を開催し、移住促進のためのスキルアップや圏域内のネットワーク化を推進する。	(イ)	南部総合県民局 地域創生防災部 各市町
5 6	全国屈指の光ブロードバンド環境や地域資源を活かし、さらなる企業の誘致や新たな雇用の創出を図るため、「『四国の右下』若者創生協議会」に、ワンストップで視察相談・案内に対応する総合相談窓口（コンシェルジュ）を設置するとともに、オフィス開設に関心のある企業に対する認定制度の活用や、圏域アクティビティを組み合わせた視察ツアーの実施を行う。	(ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部 Social5.0推進課 各市町
6 7	美波町を舞台にサテライトオフィス誘致の創成期を描く映画「波乗りオフィスへようこそ」のショートムービーやワーケーション動画等を活用し、首都圏で県南の豊かな自然と新しい働き方をPRするとともに徳島の新たなビジネスモデルを発信しことを通じ、主要都市に本社を置く企業における南部圏域へのサテライトオフィス進出の機運を醸成や既存のサテライトオフィスの定着を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 地域創生防災部 Social5.0推進課 各市町
7 8	ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、企業の従業員や個人テレワーカーが利用できる「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入に向けた施策を積極的に展開するとともに、テレワーカー及びテレワークコーディネーターの養成を行うことで、テレワークの普及を図る。	(ウ)	労働雇用戦略課

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●移住交流支援センターの設置による、U・I・Jターン者等の受入れの整備。 ●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。 ●かもだ岬温泉保養施設内「かもだカフェ」の支援、富岡商店街での「阿南まちゼミ」への支援など、地域住民の活躍と交流により、地域の魅力を発信する。 	阿南市
<ul style="list-style-type: none"> ●那賀町における移住交流人口増加を図るため、移住交流推進地としてブランド化させる、プロモーション活動を実施する。また、移住・定住支援員による新規移住交流推進事業を計画・実施する。 ●移住者の増加を図るため、那賀町での田舎暮らしの魅力を情報発信するとともに、U・I・Jターンの移住希望者に対し、移住に係る障害の低減と増加する空家の有効活用を進めるべく、売買及び貸借費用の低減補助を行う。また各地域組織団体等での空家の紹介、移住者生活支援等の具体的な方法を検討する。 ●那賀町への移住希望者に対し、那賀町での田舎暮らしを体験することの出来る、「おためしハウス」を整備する。既存の空家を借り上げ、改修し、生活体験をしてもらうことにより、具体的な魅力を実感してもらいU・I・Jターン希望者の増加を促進する。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●空き家バンクの内容（件数、種類）の充実と、HP、パンフレットなどで情報発信を行うに努める。あわせて、空き家及びその地域でのモデルとなるライフスタイルの提案と受入地域のコーディネーターを育てる。 ●住宅改修に係る助成制度を創設し、移住促進を図る。 ●牟岐町に特化したソーシャル情報プラットフォーム（牟岐町アプリ）により、ユーザー登録すると自動的に牟岐第二町民になれ、ふるさと会員となり、牟岐町の様々な情報を受け取れるシステムを構築したので、関西・関東を中心に牟岐町ゆかりの方の加入を進め、牟岐町に興味を持っていた方等にも魅力情報発信を行い関係人口の増加につなげる。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●過疎が進む現実を受け入れながらも、内外から人が集い、開業や起業が相次ぐにぎやかな町「にぎやかそ～にぎやかな過疎 美波町～」の実現を推進する。 ●移住交流センターによる移住希望者のニーズにあった空き家情報の提供やお試し滞在施設の活用など移住交流コーディネーター及び地域づくり団体と連携し、移住の推進を図る。 ●コミュニティビジネスの創出のためのノウハウや育成のための助成を継続し、支援を行う。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●空き家を地域資源として捉え、空き家バンクの機能が最大限に発揮できるよう、積極的な情報収集及び情報発信に努めるとともに、各種助成制度により必要な支援を行いながら、移住の促進及びサテライトオフィスの誘致を図る。 ●移住体験施設を有効に活用し、まちの暮らしの体験を通して、移住を促進する。 	海陽町

【プラン22】「地域の宝」を育む結婚・妊娠・出産・子育て支援

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	「道の駅」における子育て応援箇所数（累計） 〈'17〉 1箇所 → 〈'22〉 2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所
2	小中高校生を対象としたライフプラン教育の実施回数（累計） 〈'17〉 79回 → 〈'22〉 173回	113回	133回	153回	173回
3	認定こども園設置数（累計） 〈'17〉 13箇所 → 〈'22〉 17箇所	15箇所	16箇所	17箇所	17箇所
4	放課後児童クラブの設置数（累計） 〈'17〉 18クラブ → 〈'22〉 30クラブ	30クラブ	30クラブ	30クラブ	30クラブ

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	少子高齢化対策の一環として、既存の「道の駅」に子育て世代を応援する施設の整備を推進する。	(ア)	南部総合県民局 県土整備部
2	「とくしまマリッジサポートセンター（略称：マリッサとくしま）」を拠点とし、地域の特色を活かした魅力ある婚活イベントを開催するなど、市町等と連携し独身者に出逢いの機会を提供し、結婚を支援する。	(イ)	次世代育成・ 青少年課
3	不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、 医療保険が適用されず、令和4年度からの公的保険制度適用までの間 、高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成する。	(ウ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
4	小中高校生を対象に安全・安心な妊娠・出産につながる心と体の健康づくりに関する基本的な正しい知識の普及啓発、情報提供等を行い、若い世代からのライフプラン教育を推進する。	(ウ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
5	乳幼児等の疾病の早期発見と早期治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、市町が実施する子どもはぐくみ医療費助成事業に対して助成する。	(エ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
6	人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
7	すべての子どもに適切な保育を保障し、質の高い幼児教育を提供できる認定こども園の設置を促進する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
8	昼間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保する放課後児童クラブの拡充を図るとともに、放課後児童クラブ利用料無料化制度を推進する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
9	短期のパートタイム就労など、子育て家庭の様々なニーズに合わせ、より一層利用しやすくなるよう、一時預かりサービスの拡充を図る。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
10	経済的負担軽減するため、保育所・幼稚園等保育料無料化制度を推進する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
11	子育て環境の多様なニーズに対応するため、病児・病後児預かりの受け入れ体制の強化を促進する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課
12	保育所を利用せず、在宅で育児をしている家庭の負担を軽減するため、様々な子育て支援サービスを利用できるクーポンを交付する事業に取り組む市町村に対して助成する。	(エ)	次世代育成・ 青少年課

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援施策や家庭づくり等の情報提供・発信を行う。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援連携協議会を中心に関係機関と連携し、幼少時から就労に至るまでの支援体制の強化を図る。 ●子育て支援事業としてファミリーサポートセンター事業を推進するとともに、事業の中で子どもたちと地域住民との交流の場を設ける。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代包括支援センターの設置に向けた検討を進める。 ●多様な出産・子育て支援制度の充実と情報発信を行う。 ●子育て世代包括支援センターを中心とした、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●海陽町婚活実行委員会（コンカローレ海陽）主催による、地域資源を活かした婚活イベントを開催するとともに、とくしまマリッジサポートセンターと連携して、独身男女に出会いの場を提供し、婚姻率の向上を図ることにより、移住・定住を促進する。 ●子育て世帯が交流や相談できる機会を充実させ、子育て世帯が相互間また、子育て支援機関とのつながりを深めることにより、子育てしやすいまちづくりに取り組む。 	海陽町

(2) だれもがいいきと暮らし、かがやく地域の創造

【プラン23】「地域の絆」によるまちづくりの推進

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	精神障がい者ピアサポーターによる交流会等の実施回数（累計） 〈'17〉 - → 〈'22〉 9回	1回	3回	6回	9回
2	農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組む地区面積 〈'17〉 3,075ha → 〈'22〉 3,000ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha	3,000ha

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	NPO法人等の充実した活動の展開及び地域住民の社会貢献活動への参加・参画の促進を図り、NPO法人等市民活動団体の活性化と官民協働・連携の推進を図る。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
2	人生経験の豊富な高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力の強化が図られることから、圏域内の子育て活動を実施しているシニア団体を支援する。〈再掲〉	(ア)	次世代育成・ 青少年課
3	県健康福祉祭において地域における高齢者が参加しやすい環境を整備するとともに、高齢者の生きがいと健康づくりをさらに推進し、より多くの「元気高齢者づくり」を目指すため、「県南部、県西部サテライト大会」を開催する。	(ア)	南部総合県民局 保健福祉環境部 ダイバーシティ 推進課
4	地域の医療・福祉機関等と連携し、精神障がい者ピアサポーターの養成・支援体制を整備する。	(イ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
5	障がい者が高齢者等に対し、日用品等の移動販売や見守り活動を行うことにより、働く意欲と特性に応じ活躍できる場を創出し、地域に貢献する活動の推進を図る。	(ウ)	障がい福祉課
6	生活保護受給者をはじめ生活困窮者の自立を促進するため、ハローワーク等関係機関と連携して就労支援を推進する。	(エ)	南部総合県民局 保健福祉環境部
7	土地改良施設や農地等の保全及び農山漁村地域の活性化の推進に対し、理解と熱意を有する地域のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成とその活動を支援する。〈再掲〉	(オ)	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
8	過疎化や高齢化に悩む農山漁村集落と、社会貢献・地域貢献の一環として農山漁村地域を応援したい企業・大学・NPOとの協働による農山漁村の活性化に係る活動を「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」により支援する。	(カ)	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
9	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮にあたり、農地・農業用水等の保全のため、地域の共同活動により行われる取組みや、中山間地域等における農業生産活動を推進する取組み等を支援する。〈再掲〉	(キ)	南部総合県民局 農林水産部 農山漁村振興課
10	地域住民の河川・道路敷地の草刈り活動を支援し、その取組みを一層促進するため、公共施設の新たな維持管理を推進する。	(キ)	南部総合県民局 県土整備部
11	ワーク・ライフ・バランスの向上や勤務形態の多様化に適切に対応するため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、企業の従業員や個人テレワーカーが利用できる「テレワークセンター徳島」を拠点とした企業のテレワーク導入に向けた施策を積極的に展開するとともに、テレワーカー及びテレワークコーディネーターの養成を行うことで、テレワークの普及を図る。〈再掲〉	(キ)	労働雇用戦略課

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●NPO法人との連携を図りながら、ボランティア活動の活性化を図るための情報提供や、活動支援を行う。 ●利活用可能な空き家物件情報の把握に努める。また、定住自立圏共生ビジョンの取組内容に基づき、圏域町と連携して空き家情報の連携体制を検討した上で情報の共有に努める。〈再掲〉 ●阿南市内各地域の伝統芸能、伝統文化を掘り起こし、共有の財産として後世に引き継ぐための施策を展開するとともに、広報あなんやSNSの活用により各地域の祭りなどの行事を広く市民にPRする。 	阿南市
<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティの維持・活性化のほか、産業の振興や後継者育成など地域にあった活動を実施するまちづくり協議会に対して必要な支援を行い、地域の特性を活かしながら、住みよいまちづくりを目指すことを推進する。 ●文化事業として、町内に多く存続する農村舞台で、古くから受け継がれてきた人形浄瑠璃や襖からくりを地域住民が主体性を持ち企画を行うと共に、後継的存在である丹生谷清流座や他の座などの協力のもと、八面、拝宮、北川、辺川、鎌瀬、坂州の6カ所の農村舞台を活用し人形浄瑠璃を上演する。今後においても人形浄瑠璃以外の利用について模索検討を行う。「丹生谷清流座」などが人形浄瑠璃を公演する。昨年、襖からくりの修繕を行った辺川神社農村舞台も加え現在、公演が行える舞台（八面、拝宮、川俣、北川、辺川、鎌瀬、坂州）の7カ所の農村舞台を活用し、人形浄瑠璃を上演する。また、人形浄瑠璃以外の利用について模索する。 	那賀町
<ul style="list-style-type: none"> ●出羽島集落において、重伝建事業による町並み保存を計画に沿って実施し、と空き家の多角的有効活用を並行して実施することでも、行政・地域・地域住民の受け入れ体制整備を推進する。 ●空き家を活用した交流施設の活用を実施する。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●定住促進対策条例、小規模事業起業支援制度等の有機的連携を通じ、空き家や空き店舗等の再生による小さな経済の創出と集積による地域活性化に取り組む。 ●少子高齢化が進行する地域において、介護予防をはじめ地域の見守り等に取り組む地域づくり団体を支援する。また、既存公共施設（美波町高齢者福祉センター）を改修し、高齢者をはじめ子ども等が気軽に集い、地域で支え合う拠点整備に取り組む。 ●地域コミュニティの維持、活性化のための地域おこし協力隊事業や地域づくり団体への各種支援を実施すると共に長期にわたる活動の実証や検証を行う。 ●にぎやかな過疎→「にぎやかそ」のブランド化と魅力あるまちづくりに向け、町と住民が一体となり取り組む。 ●人が集い自然環境にも恵まれ、誰もがいきいきと暮らせる持続可能なまちを目指し、SDGsの推進に取り組む。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●海陽町元気になる「和」条例の基本理念の1つである「活力ある地域づくり」実現するため、「海陽町集落右上がり事業」による、農水産物の出荷支援等の農水業振興と同時に買い物弱者対策及び高齢者の見守りサービスを行い、農山漁村の活性化を図る。 ●地域おこし協力隊事業を活用し、地域コミュニティの維持・活性化を図る。 ●耕作放棄地解消に向け、企業、NPOなどを含めた観光農業、グリーンツーリズムなどの多面的な取組みを推進する。また、農用地としての利用が困難な場合は、太陽光発電施設用地等としての利用など、耕作放棄地の有効活用を図る。 	海陽町

【プラン24】だれもがかがやく未来に向けた学びの場の確保

	主要業績指標	2019	2020	2021	2022
1	県立総合大学校南部校主催講座数 〈'17〉 12講座 → 〈'22〉 20講座	20講座	20講座	20講座	20講座
2	牟岐少年自然の家を拠点とした自然体験・交流体験等への参加者数 〈再掲〉 〈'17〉 800人 → 〈'19~'22〉 年間900人	900人	900人	900人	900人

	主要施策・主要事業	※（ ）書きは、南部圏域振興計画（第4章）の「今後の取組み」を示す	担 当
1	県立総合大学校南部校において、圏域の特性を活かした講座を充実させ、将来を担う人材の育成を図る。	(ア)	南部総合県民局 地域創生防災部
2	県立総合大学校の主催講座等をオンデマンド配信するなど、県民の生涯学習に関する利便性の向上や学習機会の充実を図る。	(ア)	県立総合大学校 本部
3	大学との連携による地域の課題解決や活性化を図るため、「大学等サテライトオフィス開設支援制度」を活用し、大学のサテライトオフィスを誘致し、地域に密着した教育・研究活動や地域貢献活動を支援する。	(ア)	県立総合大学校 本部
4	急激に人口減少が進む中、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保障するという「小中一貫教育（徳島モデル）」を県内に普及するため、県南部においてICTを活用した合同授業等に取り組む。	(イ)	教育委員会
5	牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験や出張授業による自然学習、交流体験、食育等を推進する。〈再掲〉	(ウ)	教育委員会
6	外国人との交流や体験活動の機会を提供する際に、県南施設や観光資源などを有効活用し、小・中・高校生を対象にした英語によるキャンプ等を実施し、グローバル人材育成の取組みを行う。	(ウ)	教育委員会
7	豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、県立那賀高校「森林クリエイト科」において、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進する。〈再掲〉	(エ)	教育委員会
8 追加	高大連携や地域・民間連携の拠点となる高校・大学・地元企業が一体化した阿南光高校新野キャンパスを創設し、徳島大学との高大接続教育や産業界と連携した研究開発に取り組むことにより、地方創生の原動力となる人材を育成します。〈再掲〉	(エ)	教育委員会

市・町関連施策	市町名
<ul style="list-style-type: none"> ●大学との共同研究により、建築に携わる学生の人材育成を兼ねて空き家の利活用を進める。 ●大学生、高校生、中学生が主体となり、多様な学びの場づくりに取り組み、地域住民や外部支援者等との交流を通じて町を担う人材を創出する。 	牟岐町
<ul style="list-style-type: none"> ●門前町の再生、道の駅の魅力向上や新商品開発、南海トラフ地震・津波対策や事前復興まちづくり計画、点在集落の持続と活性化など、多様な分野において、それぞれ専門性を有する大学や研究者、学生等との連携を深める。 	美波町
<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然と地域資源（ストック）を活かして、教育機関と連携し、「山村留学」による小中学生の受け入れを実施する。 ●地域、大学及び行政の連携の下、地域をキャンパスに大学が授業を実施し、若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化のための取組みを図る。 	海陽町